

6. 院外処方で開業すべき？

- ・医薬分業の最大のメリットは、医薬品に関して医院と薬局によるダブルチェックが行われ、より安全に医薬品を服薬できるところにあります。
- ・必ず患者側・診療所側の両方からメリット・デメリットを見つめることが肝心。
- ・よいパートナーシップを築ける調剤薬局を選定。

6. 院外処方で開業すべき？

【診療所側のメリット】

- ・処方箋料といった「粗利益率」の高い収益が増える。
- ・管理コスト、管理スペース、人件費の削減。
- ・調剤薬局に過剰投薬等をチェックしてもらえる。
- ・窓口の混雑を解消できる。
- ・調剤薬局との相乗効果により増患になることも。

【診療所側のデメリット】

- ・処方内容を伏せたほうがよい場合にはひと工夫必要。

6. 院外処方が開業すべき？

【患者側のメリット】

- ・処方内容がダブルチェックされるので服薬の安全性が高まる。
- ・服用方法の説明をより詳しく聞くことができる。
- ・クリニックの会計の待ち時間が短くなる。
- ・保険薬局を自由に選定できる。

【患者側のデメリット】

- ・高齢者や病人、けが人には苦痛を強いる場合も。
- ・処方箋料と薬局の調剤技術料の支払で、経済的負担が増加。
- ・処方された薬がすぐに手に入らないことがある。

6. 院外処方で開業すべき？

* 調剤薬局の選定のポイント

- ①薬剤の在庫・種類、薬剤仕入れ体制
- ②経営方針と経営の安定性
- ③地域とのコミュニケーション
- ④調剤薬局のスタッフの質・量
- ⑤訪問看護や在宅医療への対応処方